

第2回 新・庁舎、図書館建設町民委員会
議事次第

日時：令和2年7月17日

午後2時から

場所：能楽の里文化交流会館

座長あいさつ

前回振り返り

協議

1. 新庁舎の建設場所について

(1) 資料説明

① 新庁舎の配置案について

A案：現庁舎位置での建て替え

B案：交流会館敷地内に建設

C案：交流会館を取壊して建設

② 3案の比較検討について

(2) 協議

① 新庁舎の建設場所について

② 施設建設にあたっての論点について

次回日程について

新・庁舎、図書館建設町民委員会名簿

	氏 名	集 落	備 考
座長	川上洋司	福井市	

	氏 名	集 落	備 考
	飯田照義	西角間	
	梅田忠弘	辻	
	佐飛正美	常安	
	田中優次	寺島	
	辻本悦男	寺島	
	内藤博男	中出	
	本山律子	清水谷	
	森田五保利	谷口	

(五十音順)

1. 庁舎配置の比較検討について

パターン		A案: 現庁舎位置で建て替え	B案: 交流会館敷地内に建設	C案: 交流会館を取壊して建設
整備シナリオ		①開発センター解体、現庁舎一部解体 ②駐車場確保、仮設工事 ③新庁舎建設 ④現庁舎解体 ⑤庁舎跡地駐車場整備等の外構工事 ●新図書館建設	①ほっとプラザ車庫等撤去 ②新庁舎建設 ③駐車場等外構整備 ④新庁舎前道路整備 ⑤開発センター・現庁舎解体 ●新図書館建設	①教育委員会移転 ②交流会館解体 ③新庁舎・新交流会館建設 ④駐車場等外構整備 ⑤開発センター・現庁舎解体 ●新図書館建設
庁舎配置計画	延床面積	2,130㎡	2,145㎡	2,415㎡
	敷地内での位置・アプローチのゆとり	現庁舎敷地内のため、面積も十分であり、形状も道路に面しており利用の制限は少ない。	建物に挟まれた狭い敷地であり、道路も狭いため利用に制限がある。	敷地に余裕があるため、利用の制限はない。
	庁舎形状	整形ではあるが、現庁舎があるため <u>プランの自由度は低い</u>	建設スペースが限られ、 <u>庁舎配置に制限がある</u> 。	建設スペースが広く、プランの自由度が高い。
	建物の階数	平屋建て。	平屋建て。駐車スペースを確保するには2階建てとなる。	平屋建て。
	駐車場	現庁舎跡地を駐車場とする。建設時、周辺に駐車場を確保する必要がある。	交流会館側にしか駐車スペースがなく、台数の確保が難しい。 <u>新駐車場の整備が必要</u> 。	駐車台数が確保できる。
	敷地の余剰スペース	レイアウトにより余剰スペースを確保できる可能性はある。	<u>余剰スペースを確保できない</u> 。	余剰スペースを確保できる可能性が高い。
	工期	現庁舎一部の解体期間と解体後の外構工事が必要となるので <u>工期が長くなる</u> 。	建設前の解体が少ない分一般的な工期になる。	交流会館の解体期間が長くなる。
住民への影響	将来性(増築等)	新駐車場の利用が可能。	駐車場もない状況であり、 <u>増築等は不可能</u> 。	新駐車場の利用が可能。
	災害に対する安全性	河川からの距離もあり安全性は高い。	河川のそばではあるが、浸水被害想定は低い(県洪水浸水想定区域)。	河川のそばではあるが、浸水被害想定は低い(県洪水浸水想定区域)。
	利便性	現在と変化なし	こってこていけだ等に近いため、様々なイベント等にも利便性がよい。ただし、狭い敷地のため <u>動線に制限がある</u> 。	こってこていけだ等に近いため、様々なイベント等にも利便性がよい。また、敷地に余裕があるので、分かりやすい動線が確保できる。
	シンボル性	メイン道路に面しているので分かりやすい。	2つの施設の間にあるので <u>分かりにくい</u> 。	シンボル性を有するとともに、施設内からの眺めがよい。
	住民サービス	住民にとっては分かりやすいが、 <u>サービスの向上は図れない</u> 。	ワンストップサービスが可能となる。 <u>駐車場から庁舎へのアプローチに距離があるため、不便である</u> 。	ワンストップサービスが可能となる。また、駐車場や近隣施設と連携した新たなサービスも可能となる。足羽川沿いにまとまったスペースを設けることができ、川に開けた広場等の活用を行うことができる。図書館も含めた複合施設としての整備も可能。 <u>教育委員会の移転が必要になる</u> 。
行政運営	ほっとプラザ、交流会館との距離があるため、内部の <u>連携調整コストは大きい</u> 。	ほっとプラザ、交流会館との距離が近くなり、内部の <u>連携調整コストは小さくなる</u> 。	ほっとプラザ、交流会館との距離が近くなり、内部の <u>連携調整コストは小さくなる</u> 。	

2. コストの比較検討について

パターン	A案: 現庁舎位置で建て替え		B案: 交流会館敷地内に建設		C案: 交流会館を取壊して建設	
建設費	新図書館	2.4億円	新図書館	2.4億円	新図書館	2.4億円
					新交流会館	3.6億円
	新庁舎	7.0億円	新庁舎	7.0億円	新庁舎	7.0億円
	仮庁舎等仮設	0.6億円	駐車場、道路等	1.0億円	教育委員会の移転費	0.1億円
小計		10.0億円		10.4億円		13.1億円
維持管理費 (35年間)	現交流会館	5.2億円	現交流会館	5.2億円		
	新図書館	1.2億円	新図書館	1.2億円	新図書館	1.2億円
					新交流会館	2.0億円
小計		6.4億円		6.4億円		3.2億円
修繕・更新コスト (35年間)	現交流会館	10.6億円	現交流会館	10.6億円		
	新図書館	3.1億円	新図書館	3.1億円	新図書館	3.1億円
					新交流会館	4.7億円
小計		13.7億円		13.7億円		7.8億円
解体費					現交流会館	1.8億円
	現庁舎・開発センター	1.6億円	現庁舎・開発センター	1.6億円	現庁舎・開発センター	1.6億円
小計		1.6億円		1.6億円		3.4億円
合計		31.7億円		32.1億円		27.5億円

コスト合計がA案では31.7億円、B案では32.1億円、C案では27.5億円となり、C案がコスト的に一番有利である。要因としては、現交流会館の設備が大規模であるため、修繕・更新コスト及び維持管理コストが莫大なためである。

また、財源的に見ても、施設の修繕や維持管理コストは町の単独費用となるが、新設の場合は補助金や地方債の借入が可能となる。さらに、C案での交流会館の解体についても、公共施設の更新経費として地方債を活用することができ有利である。

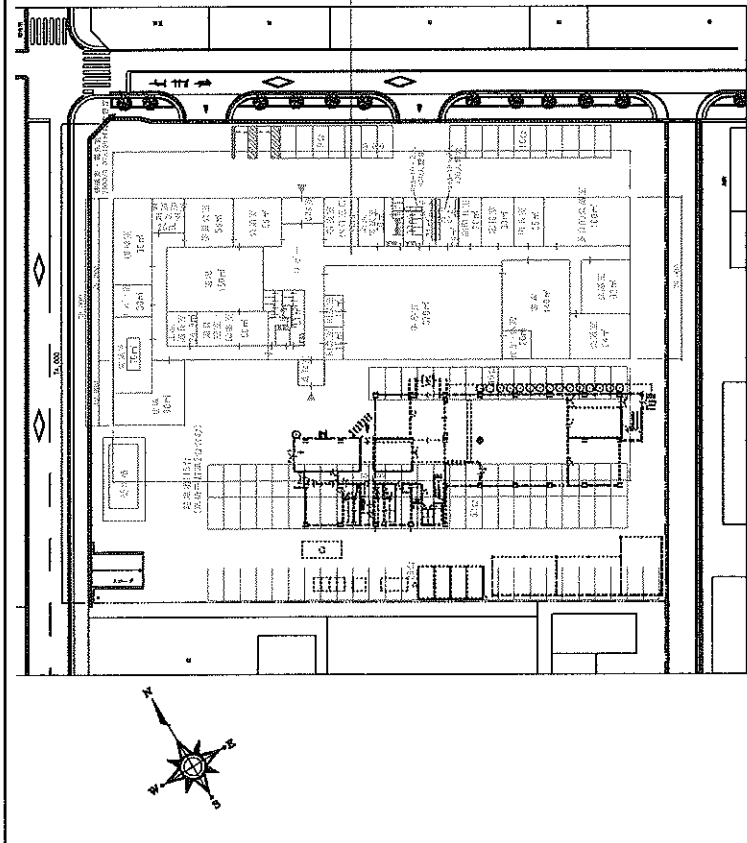
※現交流会館の音響や電気設備は更新の時期に来ており、維持することになれば直ちに更新しなければならない。

【まとめ】

配置的に見た場合、C案が一番設計の自由度があり、住民の利便性も高くなると考えられ、また、今後のサービス拡大を図る上でも有利である。

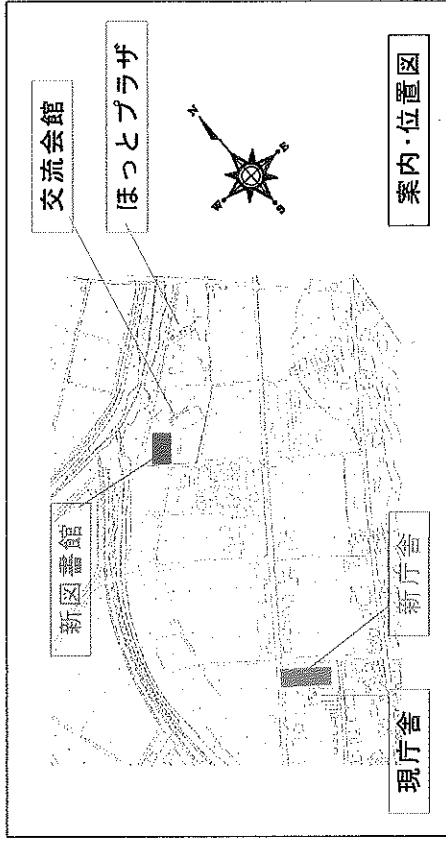
経費的に見ても、将来的な経費を算定した結果、C案がコスト的にも財源的にも有利である。また、維持管理経費等が膨大となる現交流会館については、このタイミングでの解体を逃すことは、将来につけを残すことになる^①と考える。

これらのことから、C案にてプロジェクトを進めることが適当と考える。



新庁舎

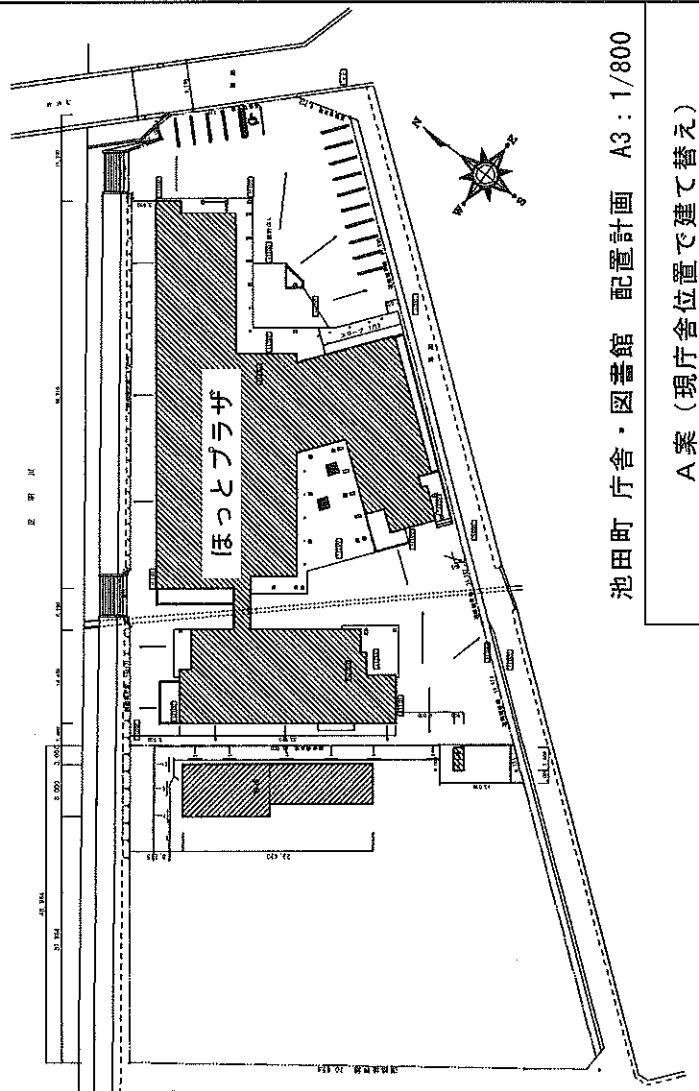
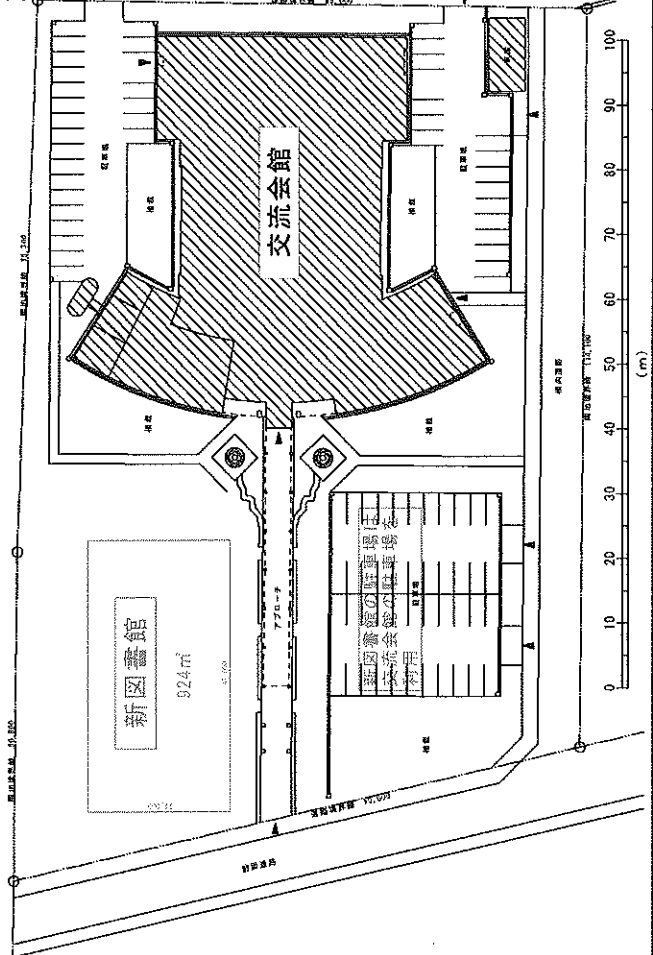
A 棟 庁舎面積 2,130㎡
 総面積には受水欄含まず
 駐車場15台
 (奥種子緑算2台含む)



案内・位置図

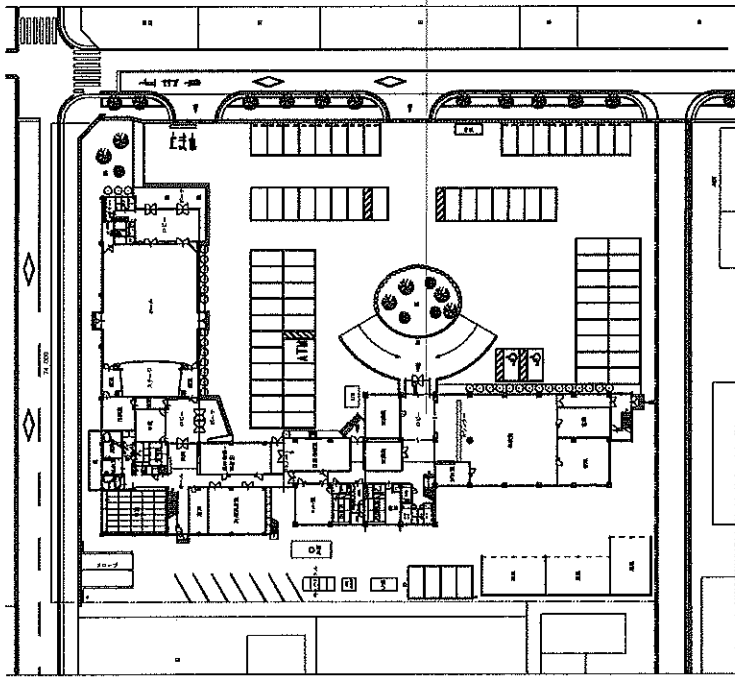
規模・階数

建物	床面積	階数
新庁舎	2,130㎡	平屋建て
新図書館	924㎡	平屋建て

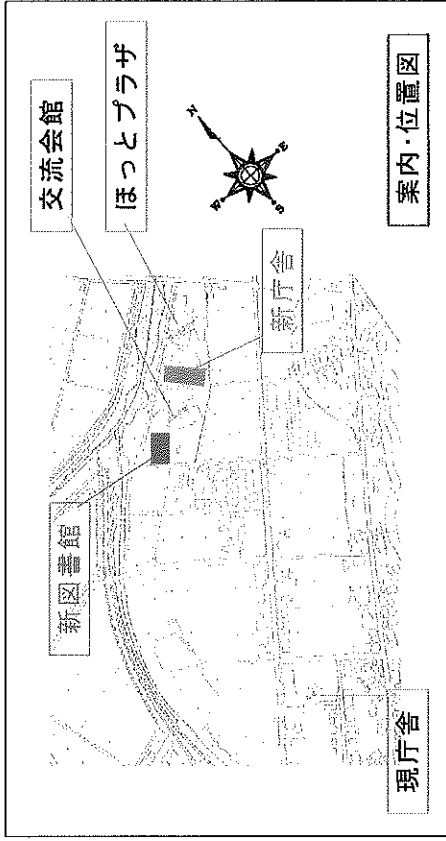


池田町庁舎・図書館 配置計画 A3: 1/800

A案 (現庁舎位置で建て替え)



現庁舎



現庁舎

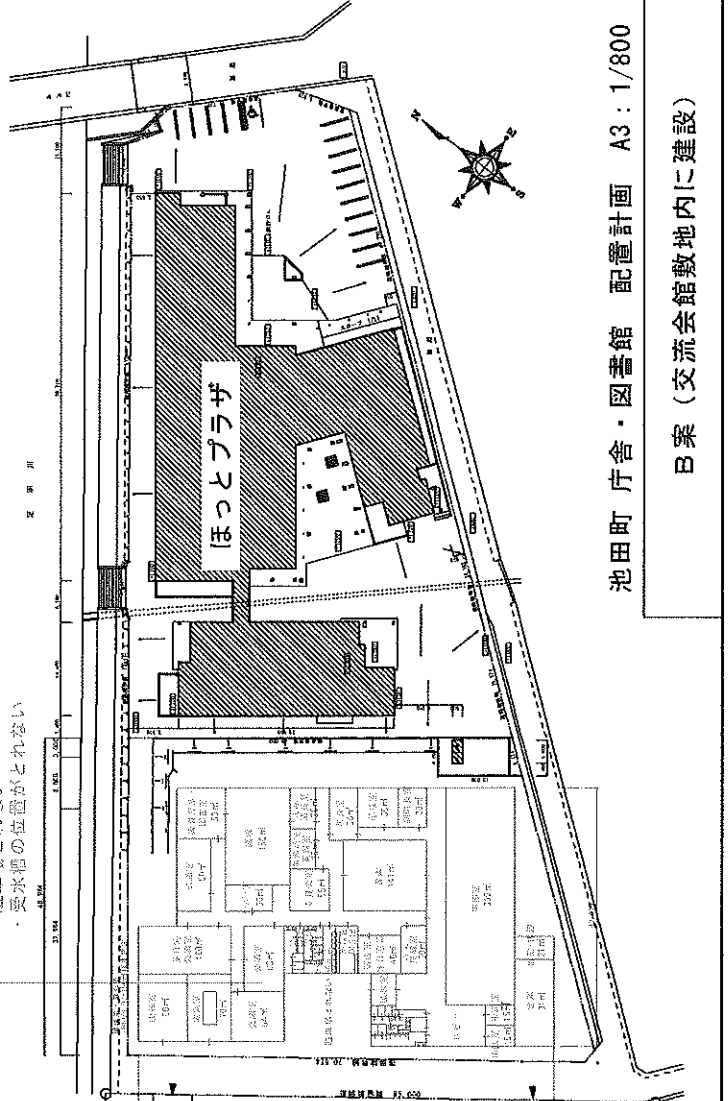
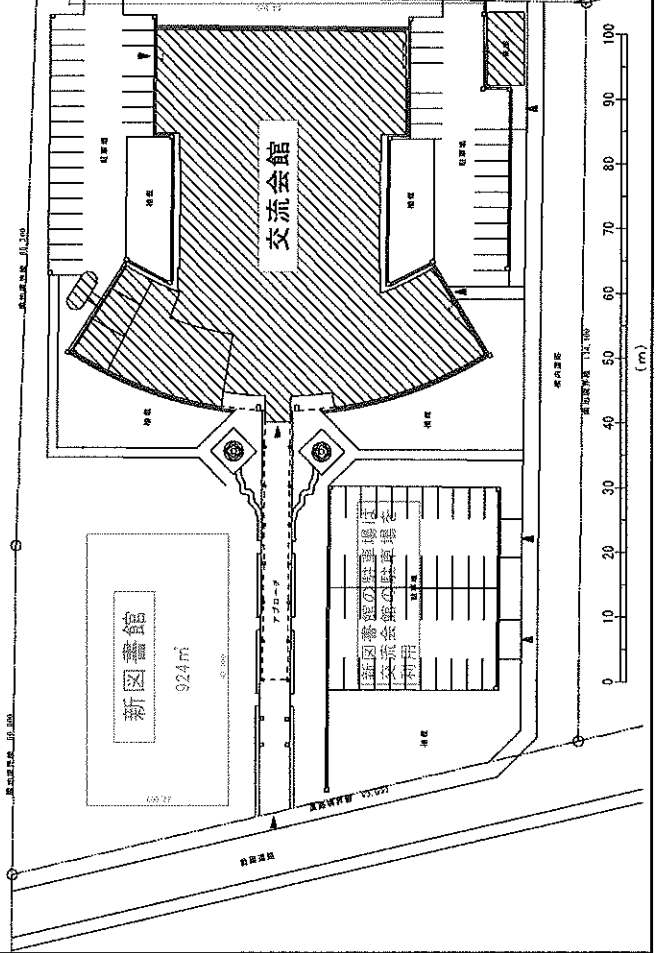
案内・位置図

規模・階数

建物	床面積	階数
新庁舎	2,145㎡	平屋建て
新図書館	924㎡	平屋建て

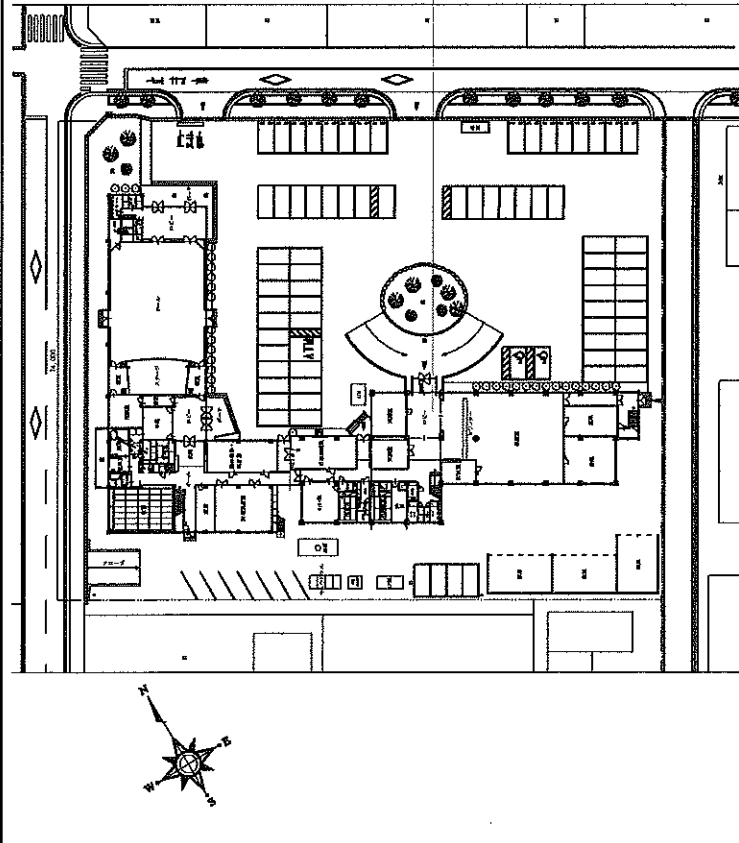
新庁舎

B案 庁舎面積 2,145㎡
 総面積には雨水槽含まず
 ・駐車場の位置がとれない
 ・雨水槽の位置がとれない

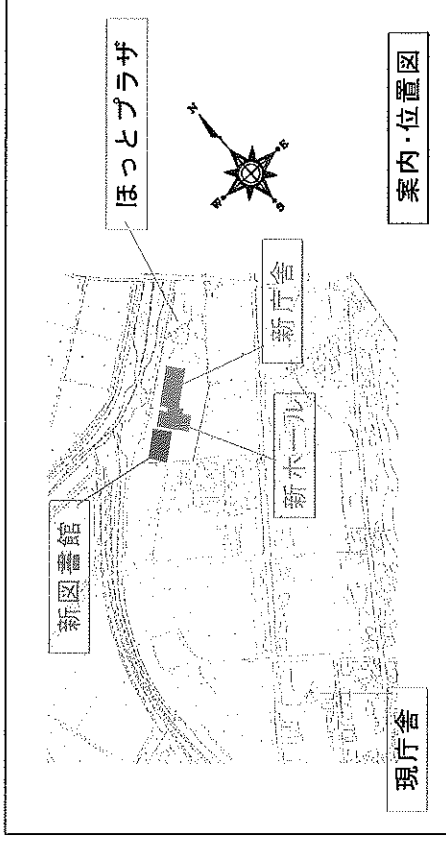


池田町庁舎・図書館 配置計画 A3: 1/800

B案 (交流会館敷地内に建設)



現庁舎

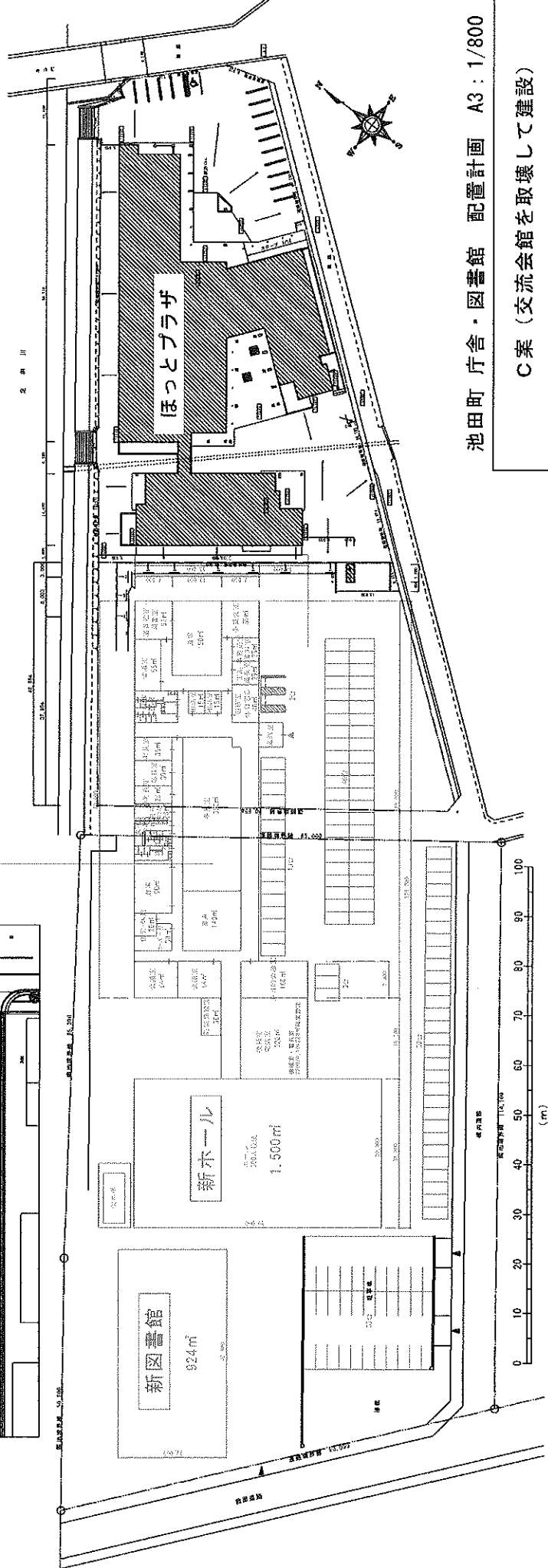


案内・位置図

規模・階数

建物	床面積	階数
新庁舎	2,415㎡	平屋建て
新ホール	1,500㎡	平屋建て
新図書館	924㎡	平屋建て

新庁舎
 C案 庁舎面積 2,415㎡
 総面積には受水塔含まず
 陸軍場130台
 (車椅子設置2台含む)



池田町庁舎・図書館 配置計画 A3 : 1/800

C案 (交流会館を取壊して建設)